

今年度の実績報告と今後の計画

1. 触覚を活かした新たな観光手法の提案

視覚に頼りがちな現在の観光は、見たことで「わかった、体験したつもり」になることが多く、その場に存在する他の多様な情報を見落としやすい。結果、観光が表面的で単調になる側面がある。一方、視覚障がい者は、視覚以外の感覚を研ぎ澄まして観光を行っており、晴眼者が見逃しがちな魅力を知っていると考えられる。本研究は、視覚障がい者の視覚によらない“触覚”を用いた観光手法を発展させることにより、晴眼者も視覚障がい者も楽しめる新たな観光手法を提案することを目的とする。今年度を実施した2つの調査概要とその結果を以下に示す。

1) 視覚障がいの方の観光同行調査

視覚障がいの方の観光調査より、①実際に触れたり、体験を伴ったりしたものが記憶に残る、②晴眼者が見落としている場所を楽しんでいる、③空間把握に多くの意識を向けている、ことが捉えられた。

2) 新たな観光提案の評価実験

奈良の観光地である東大寺大仏殿を対象に選定し、触覚を用いた新たな観光の実践を促す「触る東大寺マップ」というツールを考案した(図1、2)。これは、体験者が用意された6つの触感の異なるシールに近い触感を、大仏殿内の柱や門などに実際に触れて探しながらゲーム感覚で境内を巡り、大仏殿の平面が浮き出した地図の上にシールを貼るものである。被験者に実際にツールを用いて観光してもらい、評価アンケート調査を実施した。被験者は、弱視の方8名、全盲の方6名、晴眼者(奈良女子大学生)12名である。結果として、①新しい発見があった、②地図により空間把握がしやすい、③見える人と見えにくい人が対等に観光できる、同じ体験を共有しやすい、④記憶に残りやすい、⑤感覚を記録するアルバムの役割を果たす、などの評価が得られた。

今後、調査結果の詳細な分析を行い、触る観光を促すツールの完成を目指す予定である。



図1. 東大寺大仏殿での評価実験



図2. 触る東大寺マップ

2. 県民参加型の点検と助言による既存施設改善の有効性と課題¹⁾

平成 22 年に改正された兵庫県福祉のまちづくり条例には、施設所有者の求めに応じてアドバイザーを派遣し、施設点検と改善への助言を行う制度（チェック&アドバイス制度）が導入された。この制度は、特に①既存施設も対象となること、②条例に示されたハードの基準に加え、各施設の実情に応じて配慮可能な事項をソフト面も含めて柔軟に評価できる、という点で福祉のまちづくりを推進する上での意義は大きい。

本研究は、先駆的なこの制度が有効に機能するしくみを確立するために、実践と検証を通して制度の課題と有効性を明らかにすることを目的とする。実施事例の同行調査と助言項目の把握、事後の改善箇所および事業者評価把握を行った（図 3）。結果として、条例の基準に留まらない利用者目線での幅広い助言が行われていること、施設事業者には有効な助言の機会となると共に、今後の環境整備に繋がる学びの機会となることが捉えられた（表 1）。今後、アドバイザーのスキルアップ研修プログラム開発に向けた調査を予定している。



図 3. チェック&アドバイスの様子

表 1. 施設点検の結果（一部抜粋）

箇所	指摘・助言の内容	改善
駐車場	・店舗のすぐそばにある点が良い	△
	・雨の日困るので、屋根が欲しい ・駐輪場が奥まって暗い、利用不安	○
店内	・カウンター高さは車いすで使いやすいが、奥行き狭く足入らない	△
	・通路幅は十分確保されている	—
	・イス形状が立ち上がりにくい	○
	・車いすで気兼ねなく順番待ちができるスペース欲しい	○

凡例：○指摘後に改善済 △今後、整備予定 —改善の必要なし

3. 階段室型住棟 1 階住戸のバリアフリー改修後の居住者の住みやすさ調査²⁾

階段室型既存住戸において提案したバリアフリー改修住戸プランの居住者に対して、住みやすさについてヒアリング調査および室内の使い方プロット調査を実施した。居住者は夫婦で、夫が屋外は簡易電動車いす、室内は杖使用である。トイレ・浴室、玄関の広さは問題なく使用できている。2 部屋を 1 室としたことも動きやすいとの評価を得た。妻が調理をするため、キッチンカウンター下のスペースは、収納家具を入れて使用されていた。引越以前の住戸と比較してとても高い評価を得ており、改善の有効性が確認できた。



図 4. 動作検証の様子

[文献]

- 1) 室崎千重, 趙玫姪, 三谷信之, 難波健, 北川博己, 県民参加型の点検と助言による既存施設改善の有効性と今後の課題, 日本福祉のまちづくり学会第 16 回全国大会(仙台), 発表論文集 CD-R(2013).
- 2) 室崎千重, 趙玫姪, 公営住宅の住戸プランにおけるバリアフリー整備の現状と課題, 第 28 回リハ工学カンファレンス in いわて, 講演抄録集(2013).